



## 「人生のあいうえお」～トミーさんから教わったこと

校長 瀬川 英二

5年生のバケツ稲が鮮やかな葉を茂らせています。青田波を眺めていると、まるで風が通っていく様子が目に見えるようです。その通り道の先の、体育館での特別公開授業「ドラマジック」、当日(13日)は暑さが少し和らぎ、無事に実施できました。PTA、愛校会の皆さまに多大なご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

さて、子供たちの心には何が残ったのでしょうか。少しご紹介します。

- ・私は今まで心が弱かったけど、トミーさんの話を聞いて、もっと自信を持っていいのだなと思ったし、もっと前向きにいろんなことにチャレンジしていきたいと思いました。(6年)
- ・僕も、困難や苦難という壁が自分の前に立ちほだかり、なかなか前に進めませんでした。でも、ドラマやトミーさんのお話でもあった通り、「苦難、災難、困難、難無き人生は無難。難があるから有り難い」という言葉に強く胸をうたれました。この言葉を胸に、これからもがんばろうと思いました。(6年)
- ・私はすぐに前向きになれる方ではないけど、トミーさんの話を聞いてマイナスなことをプラスのことに変えれば心が楽しくなると言っていて、確かに、と思いました。(6年)

トミーさんから言葉を受け取り、子供たちが、みんなの前で自分の夢や、弱さも伝えたこと。学校は、言葉を大切に、建前や予定調和ではなくて、「言霊」の強さが必要だと思うのです。自分の実感や正直な感覚を言葉に込めていく。そうして、同じことを観たのに、友達が自分の思いを発表するのを聞いたり、振り返りを讀んだりして、そう感じたんだと分かることで、より自分の体験や経験を振り返ることができます。



そこから学ぶこと。この積み重ねが、将来の自律につながっていきます。だから、学校に来て、みんなで成長しよう、改めて「学び合う子」のメッセージを。

- ・トミーさんの言っていた、「夢を必ずかなえてね。その夢のことは、僕が応援するよ」という言葉に、私もがんばろう！！と思いました。(3年)

トミーさんが繰り返し伝えてくれた「友達の夢を応援しよう」という気持ち、夢を発表した友達への、みんなからの拍手にも込められていました。誰かを応援できる自分も、素敵ですよ。

「人生のあいうえお」、子供たちは覚えているでしょうか。「あ」は愛、「い」は…ご家庭でもお子様に聞いてみてください。

☆1学期は、保護者、地域の皆さまの見守りのおかげで、大きな事故もなく子供たちが安全に登下校することができました。また、図書ボランティアの読み聞かせ、図書室や池の柵、学校農園の環境整備等、様々に、多くの方々にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。2学期もよろしくお願ひします。お子様とよい夏休みをお過ごしください。